兵庫県看護協会　阪神北支部

令和５年度　第２回　阪神北支部　会員会

日　時：令和６年２月22日（木）　14:30　～　16:30
場　所：宝塚商工会議所　６階　多目的ホール（会議室）

議題

1. 開会
2. 兵庫県看護協会より報告
3. 議長指名
4. 議事
   1）審議事項
      ①　第一号議案
         公益社団法人兵庫県看護協会阪神北支部代議員及び予備代議員選出について
   2）報告事項
      ①　令和５年度　支部事業報告　【資料１】
         各委員会運営活動報告　【資料２】
         理事会報告　【資料添付のみ】
      ②　令和６年度支部事業計画（案）報告　【資料３】
      ③　来年度以降の日本看護協会阪神北支部代議員施設について　【資料４】
      ④　来年度以降の阪神北支部役員委員割り当てについて　【資料５】
   3）第一号議案の結果報告
5. その他
6. 閉会

ごあいさつ

本日はお忙しい中、令和5年度阪神北支部第2回会員会にお集まりいただきありがとうございます。本会を開催できることに感謝いたします。

新年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地域で支援活動に尽力する会員、看護職の皆さまに心から敬意を表します。

兵庫県看護協会は、1月10日より兵庫県医師会JMATの一員として、災害支援ナースを派遣されたと報告を受けております。活動の拠点は石川県七尾市の公立能登総合病院になります。また災害支援ナースはさらに12日より病院支援、珠洲市・七尾市・穴水町等避難所に入り、活動を進められております。日々新たなニーズに応じ災害支援ナースが柔軟に対応されておられると報告を受けております。丸山会長からは「1995年の阪神大震災を経験した我々だからこそ、被災地の方々への心情にそった支援ができる。現地で活動されているナースたちを誇りに思います」と話されておりました。

災害救護には、物資や資機材が十分でなくても臨機応変に対応できる看護実践能力、被災者に寄り添える心、他の救護班や地域や行政と円滑なコミュニケーションを図れる人間力などが必要になります。

苦しんでいる人を救うために、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守れるように、看護師としての資質を高めことができる人材の育成が必要と様々な報告から実感しております。

本日ご参集の各施設におかれましても、DMAT・DPAT・災害支援ナース派遣と被災地への派遣を調整されておられることと思います。現在発生している課題への対応、そして今後兵庫県では南海トラフ地震への対応として被災地支援・受援訓練等課題等対応していくことが必要と考えます。自施設でできること、今後も必要な支援活動を検討していきたいと思います。

皆様の施設においてコロナウィルスの影響はいかがでしょうか。新型コロナウィルスは、昨年5月に感染症5類化以降、社会は平常化しつつありますが、医療現場は課題が多く、現在増加の傾向にあり段階2の現状において各施設での陽性患者への対応、医療スタッフの感染・安全な医療体制維持のための人材確保などまだまだ苦しい現状が続いていると思います。当院においても毎日陽性患者さんは途切れることなく、看護を提供しています。今一度感染標準予防の徹底、連携を行いながらこの状況を乗り切りたいと考えます。

兵庫県看護協会は2040年の少子・超高齢化社会に向けて、令和2年度から「時空を超えて創造する、つなぐ・つながる看護」を将来ビジョンとして掲げ、「県民の誰もが自らの生き方を選択でき、どんな状況であっても心から幸せを実感できる生き方を支える看護」を目指しています。私たち阪神北支部においてもめざすビジョンを共有し、そのために何ができるのか、何をなすべきかを一人ひとりが考え実現に向けた取り組みを目指さなければならないと考えます。

今後も、看護協会阪神北支部活動のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

兵庫県看護協会阪神北支部理事　金谷美恵子

【令和５年度兵庫県看護協会支部会員会】

看護協会重点方策・重点事業

人生100年時代に活躍する看護
“創造する、つなぐ・つながる看護”

令和６年２月

兵庫県看護協会の重点方針

兵庫県看護協会活動のあり方 －2040年を展望して－ 【当面5か年の取り組み】	【令和６年度重点方策】
1 看護職の人材確保と定着促進	1 看護職の人材確保の推進
2 看護職の能力拡大	2 キャリア開発支援
3 県民への健康づくり・地域づくりの支援	3 全世代型地域包括ケアシステムを支える看護機能の強化
4 多職種・異分野との連携の推進	4 勤務環境改善の推進
5 災害・健康危機支援体制の強化	5 災害・健康危機支援体制の強化
6 組織力（団体としての力）の強化	6 職能団体としての組織力強化

令和６年度重点方策・事業

1　看護職の人材確保の推進

(1)地域に必要な看護職確保の推進(地域偏在・領域偏在是正への取組)
(2)中高校生への看護の魅力発信
(3)潜在看護師の再就業支援・プラチナナース活躍推進

看護の魅力発信！看護職確保の推進

2　キャリア開発支援

(1)看護職の生涯学習ガイドラインの普及
(2)あらゆる場で働くジェネラリスト看護職の育成
(3)若手看護職への支援
(4)認定看護師・専門看護師の活躍推進、特定行為研修制度の普及・活用推進
(5)看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成への支援
(6)基礎教育との連携強化

変化する社会やニーズに合わせて、学びなおし、継続的な学習に取り組む

3　全世代型地域包括ケアシステムを支える看護機能の強化

(1)地域における健康・療養支援体制の強化(重症化予防、産業保健含む)
(2)看護職間の連携や多職種との協働推進・地域ネットワークの充実
(3)地域における看護職の活動推進
(4)まちの保健室の充実

看護職がキーパーソン
地域の健康づくり、地域づくり

4　勤務環境改善の推進

(1)タスクシフト/シェアを含む業務効率化の普及・推進
　(看護補助者との協働推進含む)
(2)看護職定着に向けた取り組み
(3)ヘルシーワークプレイス(安全で健康な職場)の推進

健康的に働き続ける

5 災害・健康危機支援体制の強化

（1）健康危機（災害・感染症）管理体制の整備

（行政・他団体との連携含む）

（2）災害支援ナースの育成・活動支援

（3）災害看護・感染症関連に関する普及

地域における健康危機管理体制の強化

6 職能団体としての組織力強化

（1）会員の確保・拡大の取組み強化

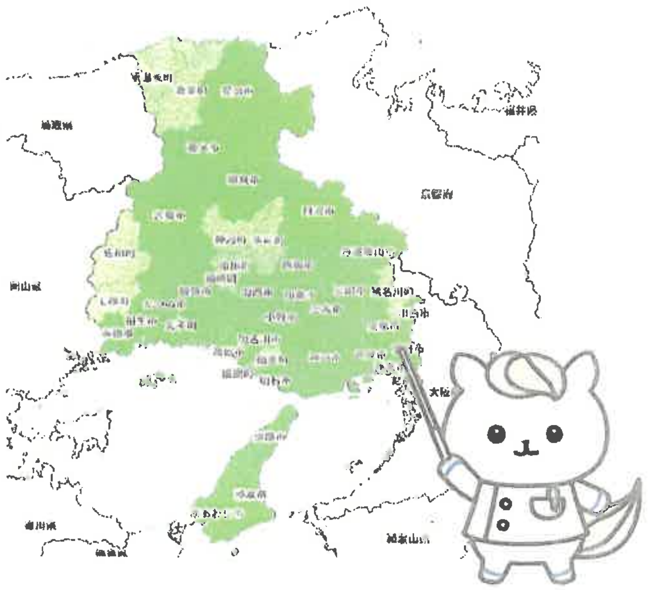
（2）SNSを活用した広報の充実

（3）地域別ネットワークづくり事業の充実支援

（地域でつながる看護の仲間づくり）

（4）経営基盤の安定化

会員ニーズに合わせた会員サービスの充実・強化



〔 令和５ 〕年度　　支部活動報告書

【資料１】

阪神北支部

支部代表氏名　金谷　美恵子

１．支部運営会議 （合同会議を含む） ※会議日の曜日及び会議時間の記入は不要

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	R5年6月30日	役員・委員長・委員合同会議：新旧役員・委員会の引継ぎ、自己紹介、令和5年度事業日程の計画	36名
2	R5年7月28日	役員・委員長会議：会員会打ち合わせ	9名
3	R5年10月27日	役員・委員長ZOOM会議：理事会報告、委員会報告、各地域・圏域会議報告	8名
4	R5年12月20日	役員・委員長ZOOM会議：理事会報告、委員会報告、令和5年度支部委員会活動報告、令和6年度支部委員会活動計画、会員会打ち合わせ、令和6年度役員・委員長・委員交代について、看護の日のイベントについて意見交換	8名
5	R6年1月26日	役員・委員長・委員合同会議：理事会報告、各委員会報告、令和5年度支部委員会活動報告、令和6年度支部委員会活動計画、会員会打ち合わせ、次年度看護の日開催について検討	31名
6	R6年2月22日	役員・委員長会議：会員会打ち合わせ等	9名
7	R6年4月19日	役員・委員長ZOOM会議：令和5年度支部委員会活動報告、令和6年度支部委員会活動計画、令和6年度年間予定表と役員・委員名簿	名

２．支部会員会（ 施設代表者会・支部事業報告会 ） ※ 会議日の曜日及び会議時間の記入は不要

回	開催年月日	場　所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	R5年7月28日	宝塚商工会議所	地区理事あいさつ、兵庫県看護協会より重点方策、新役員紹介、令和5年度阪神北支部活動計画、各委員会活動報告、理事会報告、委員予定表について	30名
2	R6年2月22日	宝塚商工会議所	地区理事あいさつ、兵庫県看護協会より活動報告、代議員予備代議員選出、支部活動報告、各委員会活動報告、理事会報告、支部活動計画、各委員会活動計画	37名

３．委員会開催状況 ※ 支部独自の委員会は４、5に記入

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	6　回	9　名
2	医療安全委員会	6　回	6　名
3	まちの保健室委員会	5　回	コーディネータ含 12　名

４．教育に関する事項 ※ 研修会開催日の曜日及び研修時間の記入は不要

１）研修会

研修会名	開催年月日	場　所	講　師	参加者数
医療安全交流会①	R5年8月18日	宝塚商工会議所	「与薬関連のインシデントについて～その対策を共有しよう～」	17名

がん看護	R5年9月16日	宝塚商工会議所	高橋麻理子 市立伊丹病院 がん薬物療法看護認定看護師	25名
褥瘡ケア	R5年11月11日	三田フラワー市民センター	高石明子 宝塚市立病院 皮膚・排泄ケア認定看護師	26名
医療安全交流会②	R5年12月14日	宝塚商工会議所	「インシデントレポート・KYTについて」	12名
新人看護師育成	R5年12月16日	宝塚商工会議所	比留間ゆき乃 兵庫医科大学 看護師長	22名

2）看護研究発表会

発表演題数	開催年月日	場　　所	講　師	参加者数
17演題	R6年2月17日	三田まちづくり協働センター		59名

5．地域看護活動に関する事項

1）看護の日　※ 複数の場所で開催した場合は、枠を増やして記入する。

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
令和5年5月13日	宝塚ソリオ広場 三田ウッデイタウン 丹波の森	宣伝活動　グッズ等配布 測定及び相談指導	400名

2）看護フェア等

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
~~令和5年6月~~		~~猪名川町健康フェア~~	
令和6年3月10日	伊丹市立サンシティホール	第30回シルバー文化作品展 （健康相談コーナー）	

6．まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
拠点における活動	拠点数	19箇所	
	健康相談活動回数	36回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	135名	
出前隊	出前隊件数	8件	
	活動ボランティア数	40 名	

＊ その他の活動（　まちの保健室における研修会、機関誌発行等の活動　）

７．地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
丹波市手話施策推進協議会	柏原住民センター	R5年 7月26日	金谷　美恵子
丹波圏域健康福祉推進協議会及び丹波圏域地域医療構想調整会議	兵庫県柏原総合庁舎	R5年 7月27日	金谷　美恵子
第1回阪神北地域医療構想調整会議	阪神シニアカレッジ	R5年　8月3日	南　　幸栄
宝塚市立看護専門学校戴帽式	宝塚ソリオホール	R5年10月24日	井口　綾子

８．その他報告内容

◆ 様式に該当しない報告事項がある場合は、資料を添付すること。

（支部様式：７）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【資料 2】

支部委員会活動報告書

支部代表　様

委員長：　細谷　和子

令和５年度	阪神北支部	教育委員会

◇　以下の項目について、要点をまとめ報告する。

【活動目標】　※　目標が３以上ある場合は、番号をつけて記入して下さい。

１．看護実践にいかすため、ニーズに応じた支部研修の企画・運営

２．看護実践報告会の開催

【活動内容】

Ⅰ委員会開催状況と検討内容（開催毎に記入）

回	委員会開催日	出席数	内　　容
1	令和５年　６月　30 日	10 名	・自己紹介メーリングリスト作成 ・令和５年度研修内容の決定と担当者決定 ・令和５年度支部研修企画案検討
2	令和５年　９月　１日	10 名	・口座申請について ・各研修会の進捗状況 ・次年度の研修企画について
3	令和５年　11 月　10 日	９名	・阪神北支部　第３回役員・委員長合同会報告 ・各研修担当者からの報告 ・研修会においてのＰＣ接続等々の検討
4	令和５年　12 月　８日	９名	・褥瘡ケア研修会の報告 ・人材育成研修の打ち合わせ ・2024 年度活動計画検討（教育研修企画）
5	令和６年　１月　26 日	10 名	・看護実践報告会、進捗状況確認 ・次年度役員選出
6	令和６年　２月　17 日	９名	・実践報告会開催 ・実践報告会の振り返り

Ⅱ活動の評価

今年度は３回の対面式研修会を開催した。

・９月 16 日に「がん看護」研修（25 名）

アンケート回収率が 48%と低かった。アナウンス不足を検討し次の研修会から対策を実践した。

基礎知識も含めて専門的な講義でねらいが達成・ほぼ達成できたが多いことから有意義な研修であったと評価する。

・11 月 11 日「褥瘡ケア」研修（26 名）

アンケート回収率 98%　　研修のねらいが達成・ほぼ達成が 96%と高かった。

「現場にて早速実践したい」などの意見があり、有効な研修となった。

・12 月 16 日「自部署における新人看護師の育成」研修（22 名）

アンケート回収率 100%　　ねらいの達成度は、達成・ほぼ達成が 100%

研修についてグループワークで「他施設の取り組みや多数の意見交換ができた貴重な機会となった」との意見が寄せられ、集合研修の有効性を再認識する研修となった。

・2 月 17 日「実践報告会」　　17 演題　口演発表

参加者　　名

当日キャンセルの事例も発生した研修もあった。講師の先生方の熱心な指導の下とても自己研鑽に有効な研修会の提供ができたと考えます。年間計画を変更することなく、実施することが出来た。

Ⅲ今後の課題

褥瘡の研修会は申し込みの時点で 50 名と多く、会場の都合で 20 名程は参加不可となった。この状況を考慮し会場の規模などを、検討したうえで次年度に再度企画する。

事前アンケートの回収率が低い研修があった。事前課題等の発信方法の工夫を行い、当日の研修がより有意義なものになるよう検討する必要があると考えます。

H24.07
H26.07（改訂）

（支部様式：7）

支部委員会活動報告書

支部代表　様

委員長：長澤　眞弓

令和5年度	阪神北支部	医療安全委員会

【活動目標】

1．阪神北支部地域の医療安全の推進

【活動内容】

Ⅰ委員会開催状況と検討内容（開催毎に記入）

回	委員会開催日	出席数	内　容
1	令和5年6月30日（金）	7名	・自己紹介、役割分担 ・令和4年度活動計画（日程調整確認） ・第1回医療安全担当者交流会の打ち合わせ
2	令和5年8月18日（金）	5名	・報告事項 ・交流会事前打ち合わせ ・第1回医療安全担当者交流会
3	令和5年9月14日（木）	6名	・報告事項 ・第2回医療安全担当者交流会の打ち合わせ
4	令和5年12月14日（木）	7名	・報告事項 ・交流会事前打ち合わせ ・第2回医療安全担当者交流会
5	令和6年1月26日（金）	7名	・報告事項 ・2023年度活動報告について ・2024年度の活動計画について
6	令和6年2月16日（金）	7名	・報告事項 ・2024年度　第1回交流会打ち合わせ

Ⅱ活動の評価

*地域病院の医療安全に携わる会員の交流会

目的：阪神北支部内施設の医療安全に携わる者の支援関係の構築により、地域の医療安全の質の向上を図る。情報交換により、地域の医療安全の実態を把握する。

交流会

・第1回 医療安全担当者交流会　集合にて開催　8月18日（金）14：00～16：00

*テーマ「与薬インシデントとその対策」　申込み17名　参加者17名

*アンケート内容（回収率100%）

・他施設の方と交流が持ててよかった。近隣の病院の方と交流ができてよかった。

・今後も交流会に参加したいと思う。ミニレクチャーが参考になった。

・他施設の取り組みや薬剤部の取り組みも聞けて大変参考になった。

・「リスクマネジメント」を他施設の管理者がどのような取り組みをしているのかが知りたい。

＊評価

WEB に比べ、対面での研修では意見交換が円滑に行えた。10 分程度であるが、ミニレクチャーの実施も好評を得た。

・第２回　医療安全担当者交流会　集合にて開催　12 月 14 日（木）14：00〜16：00

＊テーマ「インシデントレポートとその活用　KYT について」申込み 12 名　参加者 12 名（内２回目６名）

＊アンケート内容（回収率 91.6%）

・他施設の取り組みを聞いて、当院でもできそうだと思える事例や共感できることがあった。
・わからないと思っていたことが聞けたこと。
・急性期、回復期の総合病院が多く、転倒や薬剤関係の話が多く、個人病院とではインシデントの種類が違った。
・日頃のちょっとした悩みなども意見交換できてよかった。

＊評価

参加者の約半数が２回目異常であり、意見交換や他施設の取り組み紹介など、有意義な時間となっている。

Ⅲ会議等出席状況

＊阪神北支部医療安全委員会の開催をＺＯＯＭ会議で２回行った。

＊兵庫県看護協会　医療安全委員会は、集合及びＺＯＯＭ会議で出席した。

Ⅳ今後の課題

＊予定していた交流会２回を対面で開催することが出来た。他施設の状況や困っていることなど意見交換し自施設に持ちかえる事は、大変有意義な時間になっている。今後の研修会の内容に、インシデントレポートの分析方法やチーム連携方法についての希望がある。それらの内容を踏まえ、施設間で取り組みについて情報交換、情報共有を行うための活動を継続させることが必要である。また、交流会を活性化するためには、参加人数の増加が課題である。募集要項が「医療安全担当者」となっていることで、参加者に制限が生じている可能性もあるため、次年度は、交流会への参加対象者を「医療安全に興味のある方」へ変更し、参加募集を行っていく。

H24.07
H26.07（改訂）

（支部様式：7）

支部委員会活動報告書

支部代表　様

委員長：南中　二三代

令和５年度	阪神北支部	まちの保健室委員会

【活動目標】

1．まちの保健室活動に参加し、地域住民の健康増進及び健康に関する意識の向上に努める

2．役割を認識し、各拠点の地域住民のニーズに応じた活動ができるようにボランティアへ支援ができる

3．各地区の活動内容を情報共有し、地区の活動に参画することができる

【活動内容】

Ⅰ　委員会開催状況と検討内容（開催毎に記入）

回	委員会開催日	出席数	内　　容
1	令和５年６月30日	10名	・兵庫県看護協会　県の委員会報告 ・コーディネーター会議報告 ・各役割の分担決定（看護フェア担当） ・各地区活動報告 ・健康相談パンフレットの在庫利用について
2	令和５年９月１日	11名	・兵庫県看護協会　県の委員会報告 ・各地区活動報告 ・まち保の運営について ・まちの保健室備品と健康相談用資材の活用
3	令和５年月11日10日	6名	・阪神北支部役員・委員長合同会議報告 ・兵庫県看護協会　県の委員会報告 ・各地区活動報告と備品管理について ・まちの保健室活動の拠点について
4	令和６年１月26日	10名	・兵庫県看護協会　県の委員会報告 ・まちの保健室事業報告書作成（案） ・まちの保健室活動計画作成（案） ・次年度役員選出 ・看護フェア（健康相談）依頼について
5	令和６年３月８日（予定）		・兵庫県看護協会　県の委員会報告 ・今年度の活動について ・看護の日イベントについて ・看護フェア（健康相談）の運営について

Ⅱ　活動状況

・新型コロナが５月より５類感染症に引き下げとなり、まちの保健室活動が各拠点、出前隊で再開した。

・拠点活動は川西地区３件、伊丹・猪名川７件、宝塚９件、三田・丹波・篠山17件実施

拠点実施件数計 36 件　来所者計 374 名　ボランティア人数延べ 135 名
・出前隊は伊丹・猪名川地区で 8 件実施
出前隊件数計　8 件　来所者計 192 名　ボランティア人数延べ 40 名
（以上 ボランティア 総数 175 名）
・コロナ前 23 拠点であったが現在 19 拠点が稼働
伊丹地区の子育て支援は休止中。
・三田地区ではボランティアの参加が不足し 1 回休止。

Ⅲ　活動の評価

・約 3 年間、コロナで休止していたため、ほとんどの委員が活動の経験者がなく、手探りで開始することになったが、少ない経験者や引継ぎを頼りながら再開することができた。
・一部地区では地域の要望もあり、出前隊の活動を行うことができていた。
・地域イベントでの健康相談の依頼があり、数年ぶりに再開予定。
ボランティアへの支援までは達成できなかったが、まず一歩活動を再開できた事は大きな達成であった。

Ⅲ　会議等出席状況（関連する会議への出席：会議毎に分けて記載）

・兵庫県看護協会まちの保健室委員会
・兵庫県看護協会委員会
・阪神北支部役員・委員長合同会議
・阪神北支部会員会

Ⅳ　今後の課題

①　ボランティアの減少と調整
ボランティアの登録数は 96 名（R4 年度は約 30 名）一部地区では担当委員の施設からのボランティアしか確保できず、委員の負担が大きい。地区によりボランティア数にも偏りがあるため、横断的な調整か、委員以外の施設からもボランティア登録を勧めていかなければ継続はさらに難しくなる。

②　マニュアルの見直し
経験の少ない委員が引き継げるよう、各役割や活動の詳細を含め見直しが必要である。

③　若い世代へも経験を広げることによる活動の活性化
まちの保健室活動を若い看護師に経験してもらい現場実践に活かせる機会を作る事、それによる活動の活性化が期待できる。

Ⅴ　その他の報告：特になし

令和５年度　第４回理事会報告　　【　資料　】

阪神北支部理事
金谷　美恵子

日時　令和５年８月３日（木）10時～12時
会場　兵庫県看護協会会館　研修室１

Ⅰ　協議事項

１.令和６年度本会代議員および予備代議員選出人数について

⇒　阪神北支部　代議員23名　予備代議員23名で可決

・令和６年２月28日までに各支部で選出　教会ニュース秋号でアナウンス

※選出基準

・本会代議員の員数：選出の前々年10月末日現在の概ね各支部正会員150人から１人の割合をもって選出

Ⅱ　報告事項

１.日本看護協会理事会報告

1）看護師等確保基本指針検討部会での検討状況について

・1992年12月に制定された「看護婦等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針はこの30年間一度も見直されることなく経過。見直しを図るため医道審議会　保健師助産師看護師分科会　検討会で検討。令和６年度運用開始を目指し、マイナンバー制度を活用した看護職の人材活用システムの構築。

2）事業促進に関する事業報告

①2024年度から日本看護協会が開催する研修の基本方針等の変更について

・「看護職の生涯学習ガイドライン」策定に基づき、「教育計画」⇒「研修一覧」に変更

ⅰ専門職としての活動の基盤となる研修
ⅱ看護・医療政策に関する研修
ⅲ人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修
ⅳ看護管理者を対象とした研修
ⅴ資格認定教育　　の５分類に変更

②その他の事業報告

・DiNQL事業2023年度参加病院　575病院/8139病院（7.1%）
兵庫県は6.4%（21病院）　エビデンスに直結するか不明

・認定看護の育成に関する事業（Johnny's　Smile　Up！Project基金）
2021年度支給対象者260名　認定審査なし13名(9名が退学)⇒支援金の返還０名
2022年度344名(1名は退学により支援金受領を辞退)
2023年度募集要項に支援返還について明記

２.令和６年度改選役員、推薦役員および選挙管理委員候補者の推薦について

改選役員　阪神北支部地区理事１名

推薦委員（各支部１名）　阪神北支部１名…丹波市立看護専門学校　菅村学校長自薦

選挙管理委員（各支部１名）　阪神北支部１名

３.兵庫県看護大会報告

・令和５年７月６日に開催

・基調講演：セルフコンパッション

４.新たな災害支援ナース養成について

・R6年４月以降に執行される予定

・日本看護協会において、自然災害・感染症支援に係る看護職の応援派遣体制の仕組みが構築され、新たな「災害支援ナース」の育成が始まり、都道府県看護協会において養成研修を実施。

今までの災害ナースは９時間研修受講を免除される。

Ⅲ　意見交換

１.会員確保・拡大について

・現場は多様化…病院、診療所、施設勤務等

・保健師の入会推進

２.感染拡大による現場の状況について

令和５年度第６回理事会報告

日時　令和５年10月28日（土）10:00～12:30
兵庫県看護協会会館　研修室１

出席理事　17名　　出席幹事　２名

あいさつ　丸山会長　JNA第４回理事会報告

◆令和６年度　看護関係予算概算要求の概要

・特定行為研修の組織定着化支援事業（拡充）

訪問看護STではリスクや手間が増え、メリットがない⇒診療報酬への反映を

特定行為指定医療機関の質に格差⇒質が安定していない。10年経過し課題が山積み

・地域における特定行為実施体制推進事業（新規）

特定看護師を地域での活用する仕組みづくりに支援を要望（訪問看護など研修参加に伴う代替え員の資金など）

◆令和６（2024）年度重点政策（案）について

・令和６年度は、３か年の最終年として、昨年度の重点政策を踏襲。継続的に進め、進捗状況の評価結果、社会状況の変化への対応を盛り込んで重点事業を組み立てる

◆2024年度「看護の日・看護週間」事業（案）について

・今後、18歳人口の18人に１人に、看護を職業選択してもらう必要がある。対象を主に若年層として「看護の人材確保」を目的として事業を実施していく。

Ⅰ.協議事項

１．令和５年度重点方策事業評価（案）・令和６年度重点方策事業（案）について　承認

・令和５年度取り組んできた６つの重点方策を踏襲さらに充実し、「看護の人材確保の推進」「生涯学習支援の充実」「全世代の健康を支える看護機能の強化」「健康危機支援体制の強化」「職能団体としての組織力強化」「勤務環境改善の推進」とし、必要な事業を展開していく。

重点事業についてより具体的に表現した。「若年層」⇒「中高生」

「コロナウイルス感染症体制への整備」⇒「災害・感染症関連に関する普及」

・12/2策定委員会で検討していく

２．令和６年度委員会について　承認

・17委員会は継続する

・看護協会に求められる研修のニーズを調査していく

・看護管理者、特に訪問・在宅看護管理者の育成についても検討

３．令和６年度定時総会・職能集会について（案）　承認

・令和６年６月20日（木）午前：合同職能集会、午後：定時総会

ハーモニーホールは350人収容可能、参加者を多く集められるように調整

４．令和５年度　兵庫県看護協会　委員会委員の辞任に伴う後任委員の選出について　承認

・地域ケア・地域看護推進委員会…退職に伴う変更

・まちの保健室委員会…移動に伴う変更

Ⅱ.報告事項

１．近畿地区法人会員会報告

２．近畿地区職能委員長会報告

・保健師確保と活躍促進
2024 年 1 月 27 日「地域で働く保健師の魅力」研修会開催
・保健師の協会入会促進

3．地域に必要な看護職確保推進事業　中間報告
・プラチナナースへのアンケートに 370 名の参加　今後集計･分析していく予定
・確保に向けた研修会
・中高生対象研修　14 人が参加

4．災害支援ナース養成　現状報告
・122 施設 286 人の参加、修了者 270 人　　11 月に感染研修を受講し終了予定
・令和 6 年度改正となる医療法等において、県と病院との協定で運営される。

5．看護補助者対象研修　現状報告
・7 月にキャンペーンウィーク　説明会実施
・ハローワーク職員への看護補助者についての説明が必要と感じた

Ⅲ.意見交換

1．「看護職の生涯学習ガイドライン」（生涯学習を支援するための取組み指針）
・「看護職の生涯学習ガイドライン」考え方を理解できるよう研修会の検討
・「あらゆる場で働く人」が対象

Ⅳ.連絡事項

1．令和 6 年度代議員・予備代議員の選出について
※准看護師の選出が難しい場合、阪神南支部と一緒でも可（R3？決定）

2．令和 6 年度会長表彰及び会長感謝状贈呈、まちの保健室ボランティア表彰候補者推薦依頼
1 月 31 日締め切り
まちの保健室ボランティア表彰候補…各支部で 1 名
会長表彰・会長感謝状贈呈候補者…順位をつけて

3．次年度事業計画検討会議（12/2）について

4．令和 6 年度兵庫県看護協会定時総会要綱作成について

◆支部活動報告	第 1 回目：11/15（水）	第 2 回目：2/22（木）	最終変更締切：4/8（月）
◆支部活動計画（案）	第 1 回目：1/10（水）	第 2 回目：2/22（木）	最終変更締切：4/8（月）
◆令和 6 年度予算書（案）	第 1 回目：3/29（金）		最終変更締切：4/8（月）
◆委員会活動報告	第 1 回目：11/15（水）	第 2 回目：2/22（木）	最終変更締切：4/8（月）
◆委員会活動計画（案）	第 1 回目：1/10（水）	第 2 回目：2/22（木）	最終変更締切：4/8（月）
◆各職能集会検討資料	第 1 回目：3/29（金）		最終変更締切：4/8（月）

5．令和 5 年度会員数（9 月末）

6．兵庫県看護連盟県別会議（11/18）について

7．令和 6 年度兵庫県看護協会運営に関する会議・行事日程（案）

その他　：丸山会長・友納議員との意見交換会より
・有料ナースの紹介・活用 300 億円　診療報酬で支払われている。協会での紹介システムを検討
・若いナースの美容整形領域への転職が多い（給与面も優遇されている）…検討の必要がある

令和５年度第７回理事会報告
日時　令和５年 12 月２日（土）10:00～12:00
兵庫県看護協会会館　研修室１

阪神北支部理事
金谷　美恵子

議事
丸山会長あいさつ
◆看護補助者処遇改善
厚生労働省は、人手不足が深刻な介護職員らの処遇改善のため、R6 年２月～5 月の賃金を 6000 円/月賃上げ分を支給する。ただし補正予算であるため今後継続していただけるように要望していく。

Ⅰ.協議事項
１．令和６年度予算要望について
　７月理事会で意見を集約したものを要望として提出
２．理事の選任と役員の選任について
　第１副会長の任期が満了する（任期６年）ため副会長を公募中。
　総会で承認後、第１・第２副会長の役割を理事会で決定する。

Ⅱ.報告事項
１．日本看護協会理事会報告
1）2024 年度の見込み会員数について
　2023 年度の想定会員数を計算し、2024 年度の見込み会員数を算定：750,000 名としたい
2）令和６年度診療報酬改定に向けた議論の状況について
①改定の基本的視点（案）
視点１　現下の雇用情勢を踏まえた人材確保・働き方改革等の推進【重点課題】
視点２　ポスト 2025 を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進や医療 DX を含めた医療機能の分化・強化、連携の推進
視点３　安心・安全で質の高い医療の推進
視点４　効率化・適正化を通じた医療保険背戸の安定性・持続可能性の向上
②中医協における各議論の状況（11 月 15 日現在）※報告書を抜粋
・高齢者救急は地域包括ケア病棟での受け入れ体制
・回リハ病棟において身体拘束率が高いことが指摘されており、身体拘束を予防・最小化する取り組みの強化
・ハイケアユニット用の B 項目の削除（測定のみ）
・急性期病棟における介護福祉士配置とその評価
・特定行為研修終了看護師が医療機関に配置され、適切な役割を果たせるよう業務分担することの評価
・訪問看護は 24 時間対応体制の確保と看護師への負担軽減の視点から要件の見直し、ICT 活用
・機能強化型１の訪問看護ステーションに専門性の高い看護師の配置を必須化する、病院にいる専門性の高い看護師が地域に出て行く方策の検討
・NICU の看護職員配置について手厚い配置を評価する方向性

3)「日本看護サミット2023」に関する周知・集客に関するお願い
テーマ：地域社会を支える看護職への生涯学習支援
日時：2024年2月14日
会場：東京国際フォーラムホールA

2．令和5年度重点方策及び重点事業報告（案）･･･次年度事業計画検討会議にて
令和6年度重点方策及び重点事業（案）
3．令和5年度上半期予算執行状況
1）概況
・令和5年度上半期決算；コロナ感染症関連事業が終了し、収入、支出とも減少
・収入：会員数の前年比707人の減少により会員収入の減
・支出：コロナウイルス関連事業終了により人件費、事業費減
・当期収支差額：159,673千円、前年度比22,335千円の増加
4．令和6年度・7年度委員会について（案）･･･次年度事業計画検討会議にて
5．副会長の上期職務執行状況報告
6．令和5年度認定教育課程中間報告、教育研修事業実施状況
・本年計画している研修88研修のうち45研修が終了
・技術演習がある研修や他施設の人たちと語ることを狙いとしている研修は会場研修とした。ハイブリッド開催の研修においても会場希望者が多くなってきている。今後集合研修を種に計画していきたいが、遠方からの参加が可能となるなどオンラインによるメリットもあるため研修内容によって開催を検討していく
7．令和5年度ナースセンター事業上半期報告・・・LINE等での広報活動
1）看護職の確保定着に関する事業
2）ナースセンター事業の強化
3）看護師の就業促進に関する事業
4）訪問看護推進事業
5）プラチナナース活躍推進事業
6）保健師バンク事業

8．看護実践研究会報告
11月23日開催。参加者86人。発表演題は12演題
9．令和5年度2月会員会について･･･阪神北支部はR6年2月22日

Ⅲ.その他
1．日本看護協会生涯学習ガイドライン　説明会（オンライン）
令和6年1月30日（火）開催予定

Ⅳ.連絡事項
1．令和5年度会員数（10月末現在）
2．第50回兵庫県医療食団体協議会研修会…令和6年2月23日（金・祝）
3．支部会計について

令和５年度第８回理事会報告
日時　令和６年１月20日（土）10:00～12:00
兵庫県看護協会会館　研修室１　　　　　　　　　　　　　　　　　報告　金谷美恵子

丸山会長あいさつ
　能登半島地震において、発災直後から兵庫県看護協会として災害支援本部を立ち上げ対応に備えている。兵庫県看護協会として支援を行っていく
　看護補助者の処遇改善についてR6年２月～５月月額6,000円の補正予算が決定した。今後管理者は各施設で処遇改善について取り組んでいただきたい。

Ⅰ.協議事項
１．令和６年度　改正役員の改選について
　　阪神北地区理事　改選役員（任期２年）１名追加
２．令和６年度支部活動計画について
　　各支部から報告
３．令和６年度委員会活動計画について
　　各委員会から報告
　　●災害・健康危機対策委員会：次年度受援活動の強化推進を計画していた。能登震災発生を受け強化していく
　　●看護職確保定着・離職防止推進委員会：訪問看護師の勤務実態調査を計画しているが、調査項目についての情報提供に協力いただきたい
　　●まちの保健室委員会：「まちの保健室」相談活動をメインとした動画に作り直していく
４．2025年度（令和７年）度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について
　　兵庫県看護協会
　　阪神北支部は３名の代議員と予備代議員の選出
　　選出締め切りは２月29日（木）
５．令和６年度定時総会議長団候補者の選出について
　　不慮の事態等により総会当日に議長団候補者が出席できなくなった場合、運営に支障が考えられるため、候補者に加え予備要員を選出する
　　阪神北支部はR7（2025）年度選出となる
６．兵庫県看護協会支部代表の職務代行について
　　支部代表に事故あるとき又は欠けたとき、支部代表に支部運営会議や支部化委員会の招集、議長としての議事運営等に支障をきたさないように、第１支部代表補佐、第２支部代表補佐の順位によりその職務を代行することを協会支部運営規則に追加改正
７．受講料に関する規定の改正について
　　・研修時間１日5.5時間を５時間に変更
　　・受講料改定：
　　　研修時間数により時間単価がまちまちであったが、統一単価700円/時間となる（従前より受講生には有益になる）
　　・支部研修は、会員０円、非会員2,000円現行のまま
８．講師謝金等規程別表の改正について
　　支部の講師依頼も別表に準じる

Ⅱ.報告事項

１. 能登半島地震　災害派遣等について

２. 令和６年度兵庫県予算編成にかかる知事要望（報告）

① 地域にお おける看護職の確保

② 看護職の働き方改革の推進

③ 災害・新興感染症に対応する看護職の養成

④ 専門性の高い看護職の育成促進とネットワークの推進

兵庫県知事へ看護師不足、地域偏在是正のためナースセンター運営事業についての体制強化へも直接要望を行った

３. 令和５年度第２回施設代表者会について

令和６年３月７日（木）

Ⅲ.その他

Ⅳ.連絡事項

１. 令和６年度能登半島地震兵庫県義援金募集への協力について

兵庫県看護協会会員費から募金を行う

２. 支部パソコンおよびルータについて（地区理事のみ）

３. 令和５年度会員数（11 月末現在）

・令和６年度１月 30 日（火）　日本看護協会生涯学習ガイドライン　説明会（オンライン）

・ナースセンターLINE（資料）

・令和６年１月 27 日「地域で働く保健師の魅力」研修会

87 名の申込があり、12 市長も参加予定　人材確保へ繋げる

〔　2024　〕年度　支部活動計画（案）

【資料3】

阪神北　支部　　　　支部代表氏名　金谷　美恵子

Ⅰ 支部事業

1．支部運営会議

① 支部運営会議　（　年　7　回　）

② 支部会員会　（　年　2　回　）

2．委員会

① 教育委員会　（　年　6　回　）　看護実践報告会含む

② まちの保健室委員会　（　年　5　回　）

③ 医療安全委員会　（　年　6　回　）　交流会２回含む

3．教育

① 研修会　（　年　2　回　）

② 看護実践報告会　（　年　1　回　）

3．地域看護活動

4．看護の日　1）開催日　2024年5月11日（土）13:00～15:00
場　所　宝塚駅・イオン三田ウッディタウン・ゆめタウン丹波
方　法　看護の日のグッズ配布
場所により健康相談、血圧測定、体組成測定等を実施予定
2）開催日　2025年5月　日（　）13:00～15:00

5．看護フェア

開催日	内容	場所	備考
2024年6月	猪名川町健康フェア	未定	
2025年3月	伊丹健康フェア	未定	

Ⅱ まちの保健室事業に関する事項　新型コロナ感染症の動向により検討する

	活動内容等	回数等	備　考
拠点における	拠点数	19か所	
	健康相談活動回数		
	子育て支援活動回数		
	活動ボランティア数		
出前隊	出前隊件数		
	活動ボランティア数		

Ⅲ 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	出席者
阪神北圏域地域医療構想調整会議	理事または補佐
伊丹市保健医療推進協議会	理事または補佐
丹波圏域地域医療構想調整会議	理事または補佐
丹波圏域健康福祉推進協議会（介護・福祉部会）	理事または補佐
丹波市手話施策推進協議会	理事または補佐
第2回伊丹市保健医療推進協議会	理事または補佐
阪神北圏域健康福祉推進協議会	理事または補佐
第2回阪神北地域医療構想調整会議	理事または補佐
丹波市手話施策推進協議会	理事または補佐
宝塚市病院事業運営審議会	理事または補佐
丹波圏域健康福祉推進協議会医療部会及び地域医療構想調整会議	理事または補佐
圏域内各看護学校式典	理事または補佐

Ⅳ その他報告内容

H24.07
H26.07（改訂）

（支部様式：８）

支部委員会活動計画書（案）

支部代表　　様

委員長：長澤　眞弓

令和６年度	阪神北支部	医療安全委員会

【活動目標】

１．阪神北支部地域の医療安全の推進.

【活動内容と説明】

Ⅰ委員会開催予定　　６回　（交流会も含む）

	開催日	開催時間	委員会名	活動内容
１回	令和６年７月５日（金）	13:30～17:00	合同委員会	
２回	令和６年８月23日（金）	13:00～17:00	委員会	交流会（14:00～16:00）
３回	令和６年９月20日（金）	13:00～17:00	委員会	ZOOM会議
４回	令和６年12月12日（木）	13:00～17:00	委員会	交流会（14:00～16:00）
５回	令和７年１月24日（金）	13:30～17:00	合同委員会	
６回	令和７年２月14日（金）	13:00～17:00	委員会	ZOOM会議

Ⅱ活動事業（活動目標に沿って活動内容を箇条書きで記入）

１．地域病院の医療安全に携わる会員の交流会

■目的：阪神北支部内施設の医療安全に携わる者の支援関係の構築により、地域の医療安全の質向上を図る。情報交換により、地域の医療安全の実態を把握する。

■実施内容：阪神北支部内施設の医療安全に携わる者の交流会

■対象：阪神北支部地域内の病院・施設で医療安全に携わる者

２．支部内の医療安全対策地域連携

３．研修会等に関する事項

２回／年の交流会を活用し実施予定

第１回交流会：（集合開催 or オンライン）　　日　時：　８月　23日（　金　）14：00～16：00

テーマ：「医療安全に関する日頃の悩み」～インシデントカンファレンスの実際～

第２回交流会：（集合開催 or オンライン）　　日　時：　12月12日（　木　）14：00～16：00

テーマ：「医療安全に関する日頃の悩み」～委員会活動どうしていますか（仮）～

４．学会等への発表に関する事項　　予定なし

■経費：委員会はZOOM会議、交流会は集合開催を中心に企画するが、状況によりオンライン開催とする。
会場開催の場合は下記予算となる。

委員会：会場使用料（ナースセンター使用不可の場合）　3630円 × ２回 ＝7260円

交流会：会場使用料、プロジェクター含む、その他雑費　× ２回 ＝30000円

講師謝金、交流会の案内送料別途

（支部様式：８）

支部委員会活動計画書（案）

支部代表　様

委員長：細谷　和子

令和６年度	阪神北支部	教育委員会

◇　以下の項目について、要点をまとめ報告する。

【活動目標】　※　目標が３以上ある場合は、番号をつけて記入して下さい。

１．看護実践に活かすため、ニーズに応じた支部研修の企画・運営

２．看護実践報告会の開催

【活動内容と説明】

Ｉ委員会開催予定　　　６回　（小委員会も含む）

合同委員会：７月５日、　令和６年１月 24 日（金）

教育委員会：９月６日（金）、11 月１日（金）、12 月６日（金）令和６年２月 15 日（土）

1）2024 年度の教育計画研修に関する準備、打ち合わせ、研修会後のまとめ

2）看護実践報告会に向けて募集案内、抄録作成、運営

3）2025 年度の教育研修計画の立案

Ⅱ活動事業（活動目標に沿って活動内容を箇条書きで記入）

１．調査等に関する事項

なし

２．研修会等に関する事項

1）　支部研修

・褥瘡ケア（11 月９日　講師：宝塚市立病院　皮膚排泄ケア認定看護師　）

・脳卒中リハビリテーション看護（12 月　講師：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師　）

＊基本は、集合研修で実施する　感染状況、講師の意向を聞きながら調整をする

2）看護実践報告会

・令和６年　２月 15 日（土）開催

集合で開催する（開催場所・募集人員は検討中）

発表は口述の全体発表とし、発表後に質疑応答を行い看護の共有を図る

３．学会等への発表に関する事項

なし

４．報告書等作成等に関する事項

必要時作成　研修計画書　研修報告書　アンケート作成

■経費　※記入上の留意点

研修会場利用料

褥瘡ケア研修：褥瘡被覆材料金

（支部様式：８）

支部委員会活動計画書（案）

支部代表　様

委員長：　南中　二三代

令和６年度	阪神北支部	まちの保健室委員会

【活動目標】

１．まちの保健室活動において、地域住民の健康増進および健康に関する意識の向上に努める

２．各地区活動内容を情報共有しボランティアと共に地域住民のニーズに応じた活動ができる

３．地域包括ケアを推進し、生活を見据えた地区活動を充実させる

【活動内容と説明】

Ⅰ委員会開催予定　５回　【2024 年 7 月 5 日(金)、2024 年 9 月 6 日（金)、2024 年 11 月 1 日（金)、2025 年 1 月 24 日（金)、2025 年 3 月 7 日（金)】(小委員会も含む)

Ⅱ活動事業

1．看護の日・看護フェアの運営

年間予定計画をもとに、新規の活動参加者を誘致しボランティア数の増加を図る

看護の日、看護フェアのイベント運営を通して、地域住民の健康増進を図る

活動拠点の見直し整理

（イベント予定）

看護の日

①　看護の日記念行事　；2024 年 5 月 11 日(土)　13：00～15：00

；2025 年 5 月

看護フェア等

①　猪名川町健康フェア；2024 年 6 月（予定）

②　伊丹市健康フェア　；2025 年 3 月（予定）

2．研修会等に関する事項

2024 年度予定なし

3．ボランティア活動の質の向上

・担当地区を超えた活動の情報交換

・活動に関する伝達学習

・地域事業所との連携（地域包括支援センターや介護事業所など）

4．その他：検討事項

・広報やホームページなどを使い、自宅でできる健康活動などを配信サービス検討

・各病院、施設からの継続したボランティア確保検討

・地域住民や看護職を含む医療職に対するまちの保健室活動の広報検討

5．報告書等作成等に関する事項

まちの保健室報告書　各施設１部　配布

■経費　活動器材の修理、必要機器の補充（まちの保健室事業部）

日本看護協会阪神北支部代議員施設

【資料4】

	代議員			予備代議員		
ブロック	A:三田・宝塚	B:伊丹・川西 ・猪名川町	C:丹波・篠山	A	B	C
令和4年度	兵庫中央病院	協立病院	大塚病院	宝塚市立病院	市立伊丹病院	ささやま医療センター
令和5年度	回生会宝塚病院	川西市立総合医療センター	ささやま医療センター	医療センターさくら	ベリタス病院	丹波医療センター
令和6年度	宝塚市立病院	近畿中央病院	ささやま医療センター	三田市民病院	ベリタス病院	丹波医療センター
令和7年度	宝塚市立病院	近畿中央病院	丹波医療センター	三田市民病院	市立伊丹病院	岡本病院
令和8年度	三田市民病院	市立伊丹病院	丹波医療センター	回生会宝塚病院	協立温泉病院	大塚病院
令和9年度	三田市民病院	市立伊丹病院	岡本病院	東宝塚さとう病院	第二協立病院	ささやま医療センター
令和10年度	回生会宝塚病院	協立温泉病院	大塚病院	宝塚第一病院	川西市立総合医療センター	ささやま医療センター
令和11年度	東宝塚さとう病院	第二協立病院	ささやま医療センター	兵庫中央病院	川西市立総合医療センター	丹波医療センター
令和12年度	宝塚第一病院	川西市立総合医療センター	ささやま医療センター	宝塚市立病院	市立伊丹病院	丹波医療センター
令和13年度	兵庫中央病院	川西市立総合医療センター	丹波医療センター	宝塚市立病院	市立伊丹病院	岡本病院

選出方法:ブロックごとの会員数から施設会員数を割り戻し、0.05%以上の施設を対象とした。さらに施設の会員数かが多い施設の回数を増やした。2022年1月

兵庫県看護協会 阪神北支部 役員等当番表 予定 （地区理事 代表補佐） 【資料5】

		地区理事	代表補佐① Aブロック （宝塚市・三田市）	代表補佐② Bブロック （伊丹市・川西市・猪名川町）	代表補佐③ Cブロック （篠山市・丹波市）	書記	会計
平成24・25年度	A	宝塚市立病院	三田市民病院	公立学校共済組合 近畿中央病院	兵庫医科大学 ささやま医療センター	宝塚市立病院	市立伊丹病院
平成26・27年度	B	公立学校共済組合 近畿中央病院	宝塚市立病院	医療法人協和会 協立病院	兵庫医科大学 ささやま医療センター	公立学校共済組合 近畿中央病院	市立川西病院
平成28・29年度	C	兵庫医科大学 ささやま医療センター	三田市民病院	市立川西病院 ベリタス病院	県立柏原病院	兵庫医科大学 ささやま医療センター	紀洋会 岡本病院
平成30・令和1年度	A	三田市民病院	東宝塚さとう病院	市立伊丹病院	敬愛会 大塚病院	三田市民病院	阪神自衛隊病院
令和2・3年度	B	市立伊丹病院	独立行政法人国立病院機構 兵庫中央病院	医療法人協和会 協立温泉病院	丹波医療センター	市立伊丹病院	ベリタス病院
令和4・5年度	C	丹波医療センター	尚仁会 平島病院	医療法人協和会 協立病院	紀洋会 岡本病院	丹波医療センター	尚和会 宝塚第一病院
令和6・7年度	B	川西市立総合医療センター	宝塚市立病院	公立学校共済組合 近畿中央病院	丹波医療センター	川西市立総合医療センター	宝塚病院
令和8・9年度	A	宝塚市立病院	三田市民病院	第二協立病院	敬愛会 大塚病院	宝塚市立病院	伊丹せいふう病院
			阪神北県民局		丹波県民局		

理事の選出：許可病床数150床以上 会員数80名以上の施設

理事担当順： A → B → C → B

代表補佐の選出：1名は次期理事候補の施設

書記の選出：理事と同じ施設

会計の選出：理事の選出が困難な施設

兵庫県看護協会　阪神北支部 （支部選挙管理・推薦委員・職能委員会代表）当番表　　【資料5】

年度	推薦委員	選挙管理委員会	職能委員会						ヘルシーワークプレイス推進委員会
			助産師職能		看護師職能Ⅰ		看護師職能Ⅱ		
			予定	実行	予定	実行	予定	実行	
平成24・25年度	C								
	A								
平成26・27年度	B	A	B		A		B		C
	C	B	A		A		B		C
平成28・29年度	A	A	A		C	A	A		B
	B	C	B	B	C	A	A		B
平成30・令和1年度	C	B	B	B	A	A	C	B	A
	A	C	C	B	A	A	C	B	A
令和2・3年度	B	A	C	B	B	A	A	B	B
	C	B	B	B	B	B	A	B	B
令和4・5年度	A	C	B	B	A	A	C	B	~~B~~
	C	B	A	A	A	A	C	B	~~B~~
令和6・7年度	C	B	A		C		B		~~C~~
	A	C	B		C		B		~~C~~
令和8・9年度	B	A	B		B		A		~~A~~
	C	B	C		B		A		~~A~~

*令和4年度以降のヘルシーワークプレイス推進委員選出については、看護協会から依頼によって決定する。
（令和3年度第11回理事会報告より）

兵庫県看護協会阪神北支部　委員予定表（Aブロック）　　【資料5】

年度	教育委員			まちの保健室			医療安全	
30	①	②	①	①	①	②	①	①
	宝塚市立病院	宝塚第一病院	宝塚 磯病院	宝塚市立病院	三田市民病院	兵庫中央病院	宝塚市立病院	三田市民病院
1	②	①	②	②	②	①	②	②
	宝塚市立病院	回生会 宝塚病院	宝塚 磯病院	宝塚市立病院	三田市民病院	三田高原病院	宝塚市立病院	三田市民病院
2	①	②	①	①	①	②	①	①
	宝塚市立病院	回生会 宝塚病院	こだま病院	宝塚市立病院	三田市民病院	三田高原病院	宝塚市立病院	三田市民病院
3	②	①	②	②	①	①	②	②
	宝塚市立病院	宝塚リハビリ テーション 病院	こだま病院	宝塚市立病院	三田市民病院	宝塚健康 福祉事務所	宝塚市立病院	三田市民病院
4	①	②	①	①	②	②	①	②
	宝塚市立病院	宝塚リハビリ テーション 病院	医療センター さくら	宝塚市立病院	三田市民病院	宝塚健康 福祉事務所	宝塚市立病院	三田市民病院
5	②	①	②	②	①	①	②	②
	宝塚市立病院	宝塚第一病院	医療センター さくら	宝塚市立病院	三田市民病院	三田温泉病院	宝塚市立病院	三田市民病院
6	①	②	①	①	①	②	①	①
	宝塚市立病院	宝塚第一病院	平島病院	宝塚市立病院	三田市民病院	三田温泉病院	宝塚市立病院	三田市民病院
7	②	①	②	②	②	①	②	②
	宝塚市立病院	東さとう病院	平島病院	宝塚市立病院	三田市民病院	三田リハビリ テーション 病院	宝塚市立病院	三田市民病院
8	①	②	①	①	①	②	①	①
	宝塚市立 看護専門学校	東さとう病院	医療法人財団 愛野会	宝塚第一病院	三田市民病院	三田リハビリ テーション 病院	宝塚市立病院	こだま病院
9	②	①	②	②	②	①	②	②
	宝塚市立 看護専門学校	宝塚 磯病院	医療法人財団 愛野会	宝塚第一病院	三田市民病院	回生会 宝塚病院	宝塚市立病院	こだま病院
10	①	②	①	①	①	②	①	①
	宝塚市立病院	宝塚 磯病院	兵庫中央病院	三田高原病院	宝塚リハビリ テーション 病院	回生会 宝塚病院	東さとう病院	三田市民病院

■令和6年～7年の教育委員に当たっている三田市役所健康増進課は、2023年12月現在会員在籍なし

2024.2.22

兵庫県看護協会阪神北支部　委員予定表（Bブロック）【資料5】

年度	教育委員			まちの保健室			医療安全	
	①	①	②	①	②	①	①	①
30	伊丹今井病院	協立病院	市立伊丹病院	市立川西病院	生駒病院	ベリタス病院	自衛隊阪神病院	市立伊丹病院
	②	②	①	②	①	②	①	②
1	伊丹今井病院	協立病院	近畿中央病院	市立川西病院	第二協立病院	ベリタス病院	協立温泉病院	市立伊丹病院
	①	①	②	①	②	①	②	①
2	今井病院	伊丹訪問看護 ステーション	近畿中央病院	自衛隊阪神病院 准看護学院	第二協立病院	阪神北広域 こども急病センター	協立温泉病院	介護老人保健施設 ウェルハウス川西
	②	②	①	②	①	②	①	②
3	今井病院	伊丹訪問看護 ステーション	市立伊丹病院	自衛隊阪神病院 准看護学院	自衛隊阪神病院	阪神北広域 こども急病センター	市立川西病院	介護老人保健施設 ウェルハウス川西
	①	①	②	①	②	①	②	①
4	第二協立病院	九十九記念病院	市立伊丹病院	近畿中央病院	自衛隊阪神病院	協立病院	市立川西病院	兵庫県伊丹 健康福祉事務所
	②	②	①	②	①	②	①	②
5	第二協立病院	九十九記念病院	阪神リハビリ テーション病院	近畿中央病院	協立温泉病院	協立病院	生駒病院	兵庫県伊丹 健康福祉事務所
	①	①	②	①	②	①	②	①
6	ベリタス病院	川西市立総合 医療センター	阪神リハビリ テーション病院	介護老人保健施設 ウェルハウス清和台	協立温泉病院	協立訪問看護 ステーション	生駒病院	伊丹 せいふう病院
	②	②	①	②	①	②	①	②
7	ベリタス病院	川西市立総合 医療センター	伊丹恒生 脳神経外科病院	介護老人保健施設 ウェルハウス清和台	正愛病院	協立訪問看護 ステーション	近畿中央病院	伊丹 せいふう病院
	①	①	②	①	②	①	②	①
8	自衛隊阪神病院	ケアヴィラ伊丹	伊丹恒生 脳神経外科病院	伊丹訪問看護 ステーション	正愛病院	川西リハビリ テーション病院	近畿中央病院	川西市立総合 医療センター
	②	②	①	②	①	②	①	②
9	自衛隊阪神病院	ケアヴィラ伊丹	協立温泉病院	伊丹訪問看護 ステーション	市立伊丹病院	川西リハビリ テーション病院	第二協立病院	川西市立総合 医療センター
	①	①	②	①	②	①	②	①
10	生駒病院	川西市立総合 医療センター	協立温泉病院	近畿中央病院	市立伊丹病院	伊丹 せいふう病院	第二協立病院	ベリタス病院

2021.4.2

兵庫県看護協会阪神北支部　委員予定表(Cブロック)

【資料5】

2017.10修正

年度	教育委員			まち保		医療安全	
24	丹波	篠山		丹波	篠山	丹波	篠山
	柏原専門学校	岡本病院		大塚病院	咲楽荘	兵庫県立柏原病院	ささやま医療センター
25	丹波	篠山	丹波	丹波	篠山	丹波	篠山
	柏原専門学校	訪看コスモス	兵庫県立柏原病院	大塚病院	咲楽荘	柏原赤十字	ささやま医療センター
26	丹波	篠山	丹波	丹波	篠山	丹波	篠山
	柏原赤十字	訪看コスモス	兵庫県立柏原病院	大塚病院	咲楽荘	柏原赤十字	ささやま医療センター
27	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	柏原赤十字	ささやま医療センター	岡本病院	大塚病院	訪看コスモス	大塚病院	ささやま医療センター
28	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	大塚病院	ささやま医療センター	岡本病院	兵庫県立柏原病院	訪看コスモス	大塚病院	岡本病院
29	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	大塚病院	岡本病院	ささやま医療センター	兵庫県立柏原病院	ささやま医療センター	丹波健康福祉事務所	岡本病院
30	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	兵庫県立柏原病院	岡本病院	ささやま医療センター	大塚病院	ささやま医療センター	丹波健康福祉事務所	訪看コスモス
1	丹波	篠山	丹波	丹波	篠山	丹波	篠山
	丹波医療センター	岡本病院	大塚病院	大塚病院	咲楽荘	丹波医療センター	訪看コスモス
2	丹波	篠山	丹波	丹波	篠山	丹波	篠山
	丹波健康福祉事務所	岡本病院	大塚病院	丹波医療センター	咲楽荘	丹波医療センター	岡本病院
3	丹波	篠山	丹波	丹波	篠山	丹波	篠山
	丹波健康福祉事務所	ささやま医療センター	丹波医療センター	丹波医療センター	岡本病院	大塚病院	岡本病院
4	丹波	篠山	丹波	丹波	篠山	丹波	篠山
	丹波医療センター	ささやま医療センター	丹波医療センター	丹波健康福祉事務所	岡本病院	大塚病院	ささやま医療センター
5	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	丹波医療センター	岡本病院	ささやま医療センター	丹波健康福祉事務所	訪看コスモス	丹波医療センター	ささやま医療センター
6	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	大塚病院	岡本病院	ささやま医療センター	丹波医療センター	訪看コスモス	丹波医療センター	岡本病院
7	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	大塚病院	ささやま医療センター	岡本病院	丹波医療センター	ささやま医療センター	丹波健康福祉事務所	岡本病院
8	丹波	篠山	篠山	丹波	篠山	丹波	篠山
	丹波市看護専門学校	ささやま医療センター	岡本病院	大塚病院	ささやま医療センター	丹波健康福祉事務所	訪看コスモス